

1年生学年通信

リスペクトを忘れずに
当たり前を当たり前のできる学年

2022.5.19

🌸ハートプログラム体験🌸

16日(火)に人とのつながりを大切にするハートプログラム(ハート=HRT: Human Relation Trainingの略称)を行いました。様々なアクティビティを達成する活動を通じて、楽しみながらコミュニケーション能力を高める人間関係トレーニングのプログラムです。インストラクターの方の指示を聞きながら、「見えない共通点=好きな○○(季節・教科・おにぎりなど)でグループに分かれる」などの活動に取り組み、「意見を伝えること・聴くこと」「仲間と関わること・協力すること」などを体験することができました。この活動を通して、「クラスメイトとの一体感」や「チームワークを高める」など大きな達成感を味わうことができ、どのクラスもとても盛り上がっていました。活動場所にはクラス目標が書かれていて、みんな意識して取り組んでいました。この体験をこれからのクラス活動にいかしていきましょう。



*裏面に行事予定と奨学金の募集要項を掲載しています。



1組
一人一人が相手を思
いやれて笑顔で助け
合える楽しいクラス

2組
肆気老儀
やる気・元気・勇気・
本気・礼儀



3組
個性豊かで元気と笑
顔があふれるクラス

4組
人の個性を認め、何
事にも一生懸命努力
するクラス
～愛・絆・情熱～



6月の予定



*予定が変更になることがあります。毎日のiPadの連絡を確認してください。

日	曜	給食	A/B	行事	1年					
					1	2	3	4	5	6
1	木	○			木1	木2	木3	木4	木5	木6
2	金	○			金1	金2	金3	金4	金5	金6
3	土									
4	日									
5	月	○			月1	月2	月3	月4	月5	月6
6	火	○	B	クラブ懇談会 授業参観(6h) 昼清掃	火1	火2	火3	火4	火5	水2
7	水	○			水1	水2	水3	水4	水5	水6
8	木	○		多文化の集い	木1	木2	木3	木4	木5	木6
9	金	○		QUアンケート	金1	金2	金3	金4	金5	金6
10	土									
11	日									
12	月	○			月1	月2	月3	月4	月5	月6
13	火	○	A		火1	火2	火3	火4	火5	水1
14	水	○ 12年			水1	水2	水3	水4	水5	
15	木			期末テスト	国	社	英☆			
16	金			期末テスト	理	技家	数			
17	土									
18	日									
19	月	○		教育実習開始(~7/7)	月1	月2	月3	月4	月5	月6
20	火	○	B		火1	火2	火3	火4	火5	木3
21	水			創立記念日						
22	木	○			木1	木2	木3	木4	木5	木6
23	金	○			金1	金2	金3	金4	金5	金6
24	土									
25	日									
26	月	○			月1	月2	月3	月4	月5	月6
27	火	○	A		火1	火2	火3	火4	火5	木4
28	水	○			水1	水2	水3	水4	水5	水6
29	木	○		専門委員会(6,7月分)	木1	木2	木3	木4	木5	木6
30	金	○		避難訓練・生徒集会	金1	金2	金3	金4	金5	金6

公益財団法人加藤山崎教育基金 第15回(令和5年度)加藤山崎修学支援金 募集要項

教育関係費の支援を特に必要とする家庭の
学習に意欲的または成績優秀な児童・生徒へ奨学金を給付します

1. 応募資格 次の(1)~(4)のすべてに該当する者

- (1) 日本国内の学校(国公立・私立を問わない)に在学する小学4、5、6年生、中学生、高校生(義務教育学校および中高一貫校も応募可能。ただし、特別支援校、養護学校、高等専門学校、専修学校は除く。)
- (2) 前年度的全履修科目の評定値の平均が2.7以上、5段階評価でない場合はそれに準ずる成績の者
- (3) 学習に意欲的または成績優秀で品行方正である者
- (4) 学校長が推薦する者(1校につき3名まで推薦可能)
(義務教育学校に関しては小学校課程(4学年~6学年に該当する児童)および中学校課程から各3名まで、中高一貫校に関しては中学校課程および高校課程から各3名まで推薦可能。)

* 他団体等の奨学金との併給「可」。加藤山崎奨学金との併給は「可」、併給は「不可」。

* 世帯の年間所得 200万円未満を目安とします。選考は願書内容や成績、家族構成等も考慮して行いますので、所得目安は給付を保障するものではありません。また、世帯所得が目安を上回っていても応募可能です。

* 推薦の際、校内選考時に生じうる諸事への対処は、各学校の責任において行ってください。

2. 修学支援金の使途

- (1) 学業に関する費用(授業料、学用品等)
- (2) 学校生活を送るのに必要となる費用(給食費、修学旅行費等)

3. 修学支援金の給付期間および給付額

給付期間	採用時に在学する学校/課程を卒業するまでの期間(最大3年間)		
給付額 (返還不要)	小学生	中学生	高校生
	年額 5万円	年額 5~7万円 ^{※1}	年額 5~10万円 ^{※1}

※1 給付額は選考委員会で申請内容を精査し、全体の応募状況等も考慮しながら総合的に決定します。

*希望される方は、6月2日までに担任までご連絡ください。